



# 相原中学校だより

臨時号  
H31. 2. 4

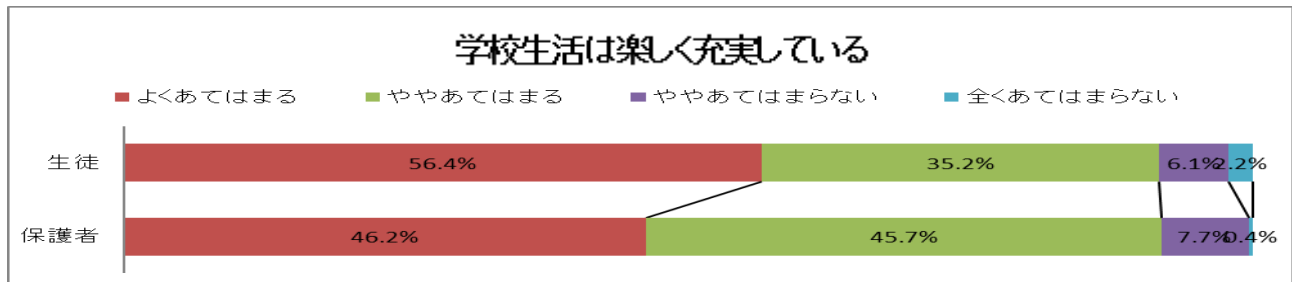
## 今年度の成果と課題

校長 江戸谷 智章

平成30年度の学校評価（自己評価）がまとまりましたので、その概要をご報告します。この報告は学校生活に関するアンケート、各懇談会でのご意見、行事の反省、日常の生活の様子等を総合し、本校職員でまとめたものです。紙面が限られているため、アンケート集計結果及び全国学力・学習状況調査の分析結果については、学校ホームページに掲載いたしますので、あわせてご覧いただきますようお願いいたします。

### 《今年度の成果として感じたこと》

学年問わず、どの生徒たちも礼儀正しいあいさつ、しっかりとした服装、前向きな学習態度、生徒会活動や部活動への意欲的な参加等、相原中学校の学校風土として根付いています。今後も本校の良き伝統として継承していきたいと思えます。



○学校生活に関するアンケートでは、多くの生徒が充実した学校生活を送っており、学級や部活動等での人間関係も良好である様子がうかがえます。

- ・「学校や社会のルールを守っている」：95.9%（生徒）、95.3%（保護者）
- ・「学習や委員会活動、部活動等に目標を持って取り組んでいる」：87.9%（生徒）、85.3%（保護者）
- ・「学級や部活動等での人間関係はうまくいっている」：90.3%（生徒）、91.2%（保護者）
- ・「部活動は楽しく充実している」：81.1%（生徒）、83.8%（保護者）
- ・「学校生活の中で、自分を生かせる場所や機会がある」：80.9%（生徒）、86.8%（保護者）※注1

○優輝祭では生徒の手による学校祭づくりが継承され、また異学年の交流活動をとおして上級生が下級生に対して責任ある行動を示し、また下級生においてもよき伝統を引き継ごうとする気持ちが高まり、授業をはじめ様々な学校行事に主体的に取り組もうとするよい校風ができています。

○それぞれの教科では、生徒同士の学び合い活動をとおして主体的、協同的な学習が進められています。生徒たちも落ち着いた学習態度で授業に臨んでいます。

○部活動では朝練習から主体的に活動に取り組み、技術面での向上のみならず、人間関係においても仲間同士で切磋琢磨し合い、豊かな人間関係を築いています。

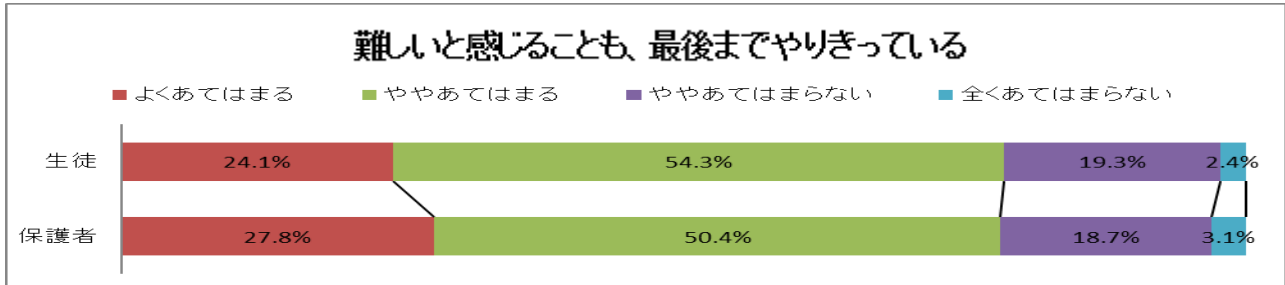
○いじめ防止に向けて、生徒アンケートを定期的実施するとともに、職員間での情報の共有を適宜行うことで、早期発見、早期対応に取り組むことができたと考えています。

○長年懸案であった「相中バック」を変更し、1，2年生の意見を踏まえ「新相中リュック」として、平成31年度から導入する運びとなりました。

※注1 各アンケートの結果数値は、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計値

## 《課題および次年度に向けて》

本校では昨年度において、学校の実態から「熟考力」「実践力」「意志力」の3点を重点目標として定め、その具現化に向けて3年間のスパンで取り組みを開始しています。そのためには、単に生徒の変容を望むだけでなく、教職員と生徒・保護者の信頼関係のもと、教職員自身が指導力・人間力を高め、併せて家庭教育力・地域力をもって学校教育を推進していくことが肝要と考えます。生徒たちが自らの可能性を十分に発揮することができるように、地域・保護者の皆さまとの連携・協力のもと、知徳体のバランスのとれた教育活動を、一層推進してまいります。

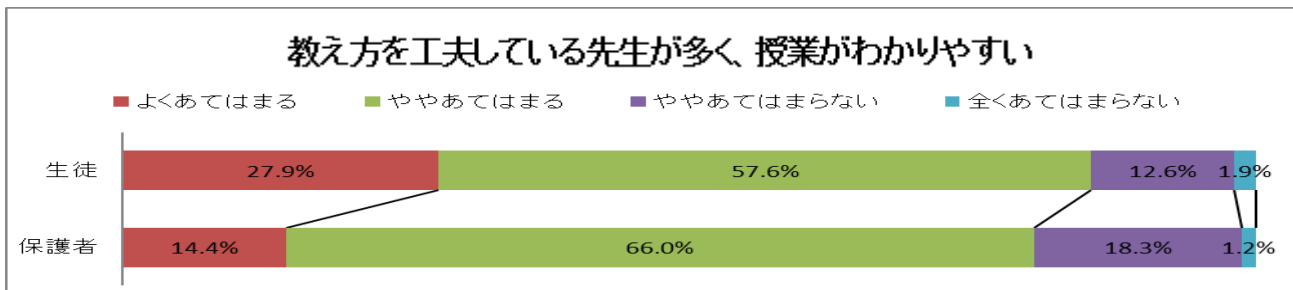


○生徒の身の回りで生じる様々な課題の解決に向けて、生徒自身が周囲の協力を得ながら解決策を考え実践し、困難にも屈せず物事を成し遂げていく資質・能力を、生徒に寄り添いながら全ての学校の教育活動をとおして培っていきたいと考えます。

○生徒の健全な育成を推進していくために、これまでと同様に、学校や生徒の様子を学校ホームページや学校だより等でお伝えしてまいります。また、本校が重点目標として掲げる「熟考力」「実践力」「意志力」の3点についても生徒はもちろんのこと、保護者、地域の皆様にも機会あるごとにお知らせし、本校の教育方針について理解を深めてまいります。

・「学校目標や学年目標を意識して生活している」：74.3%（生徒）

・「学校は学校HPや学校だよりなどで生徒の様子などをよく知らせている」：96.4%（保護者） ※注1



○学習調査等を見ると、相対的には生徒の学習状況はよいものの、中には授業内容についていけなくなっている生徒もいます。学校は今後も研究授業等をとおして教員の授業力の強化に向けて取り組みと共に、個々の生徒の教育的ニーズを把握し、学習相談会や長期休業中の補習のあり方についても工夫をしていきたいと考えています。

○アンケートでは、相談できる先生が7割程度にとどまっています。教師と生徒・保護者との信頼関係の更なる構築と、これまで以上に相談しやすい雰囲気づくりに向けて、校内研修等を通して生徒理解並びに教師力の向上に努めてまいります。

・「自分のことをわかろうとしてくれる先生がいる」：79.2%（生徒）、77.2%（保護者） ※注1

○その他、部活動につきましては、平成31年度に本市教育委員会から「部活動指針」が公表される予定です。本指針に則り、生徒の健康・安全に留意し適切な部活動運営に努めてまいります。

**今後も生徒の生命や人権の尊重、学校の安全・安心を基盤とした教育活動を継続し、学校教育のさらなる充実に全教職員をあげて取り組んでまいります。引き続き保護者のみなさま、地域のみなさまのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。**